

報道関係者各位

株式会社 建設技術研究所

## CTI グループのネットゼロ目標が SBT に承認されました

この度、当社グループが掲げる温室効果ガス削減目標が、国際的イニシアティブのSBTi (Science Based Targets initiative)<sup>\*1</sup>より、パリ協定の目標と整合した水準であることを証明するSBT (Science Based Targets)として承認されましたのでお知らせします。



Science Based Targets (SBT)は、2015年の国連気候変動枠組み条約締約国会議 (COP21)で合意された「パリ協定」が定める水準<sup>\*2</sup>と整合する温室効果ガス排出削減目標です。

当社グループが承認を得たのは、ネットゼロの達成に向けた最終目標、2030年までの短期目標及び2050年までの長期目標です。

	目標年	削減目標	
最終目標 (Net-Zero)	2050年	Scpoe1~3	バリューチェーン全体で温室効果ガス排出量のネットゼロを達成
短期目標 (Near-Term)	2030年	Scope1+2	2021年を基準年として、2030年までに、温室効果ガス排出量を60.0%削減
		Scope3	2023年を基準年として、2030年までに、温室効果ガス排出量を25.0%削減
長期目標 (Long-Term)	2050年	Scope1+2	2021年を基準年として、2050年までに、温室効果ガス排出量を90.0%削減
		Scope3	2023年を基準年として、2050年までに、温室効果ガス排出量を90.0%削減

※長期目標は90%削減であるが、ネットゼロ達成 (science-based net-zero target)に向けて、10%の残余排出量についてはクレジットの購入やJCM事業への投資等により代替予定。

当社グループは、インフラ整備を通じた「サステナビリティ」実現に向けたコミットメントとして、2022年6月22日付で「CTIグループ・サステナブルチャレンジ」を公表しました。その実現に向けて「サステナブルチャレンジ推進目標」を立てており、2050年までにサプライチェーン全体を含む温室効果ガス (Scope1~3)の

排出量実質ゼロ(ネットゼロ)の達成を目標としております。

今回のSBT承認を契機として、当社グループは2050年のネットゼロ達成に向けて、各種施策を推進し、「CTIグループ・サステナビリティ基本方針」で掲げました「企業価値向上」と「社会の持続的な発展への貢献」を目指してまいります。

---

※1:Science Based Targets initiative (SBTi)

世界自然保護基金(WWF)、CDP(旧Carbon Disclosure Project)、世界資源研究所(WRI)、国連グローバル・コンパクトによる共同イニシアティブ。傘下のSBTi Servicesが、SBTiが定めた基準に基づき、企業から申請されたCO<sub>2</sub>削減目標のSBT認定可否審査を行う。

※2:世界の平均気温上昇を産業革命以前と比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃以内に抑える努力をする水準。

**【本件に関するお問い合わせ先】**

株式会社建設技術研究所 広報室 米山(よねやま) koho@ctie.co.jp

TEL: 03-3668-4226 (直通)

〒103-8430 東京都中央区日本橋浜町 3-21-1 日本橋浜町 F タワー